

令和5年12月8日

智頭町議会

議長 谷口 雅人 様

智頭町議会議員	仲	井	莖
〃	西	尾	寿 樹
〃	岡	田	光 弘
〃	宮	本	行 雄
〃	田	中	賢
〃	谷	口	翔 馬
〃	波	多	恵理子
〃	大河原	昭	洋
〃	安 道	泰	治
〃	谷 口	雅	人

議員派遣結果報告書

令和5年10月30日に決定された議員派遣について、下記のとおり報告します。

記

- 1 派遣名 議会説明会
- 2 目的 智頭町議会基本条例第5条の規定に基づく議会報告会(説明会)
- 3 派遣場所及び期間
 - ア) 令和5年11月8日(水)
 - ①智頭町智頭2076番地2 「智頭町総合センター」
 - ②智頭町郷原259番地 「山形第一地区公民館」
 - イ) 令和5年11月9日(木)
 - ①智頭町新見371番地1 「富沢コミュニティセンター」
 - ②智頭町埴師54番地 「土師地区公民館」
 - ウ) 令和5年11月10日(金)
 - ①智頭町大背205番地 「旧那岐小学校」
 - ②智頭町福原19番地 「旧山郷小学校」
- 4 概要
別紙1～6のとおり

(別紙1)

令和5年度議会説明会報告書

1. 日 時 令和5年11月8日(水) 18:30～20:30
2. 出席議員 西尾・岡田・谷口翔・波多・谷口雅
3. 場 所 智頭町総合センター 大集会室
4. 参加人数 38人
5. 概 要 議員定数に関する説明の後に意見交換

(1) 質疑応答

問 アンケートを記名式にしたのはなぜなのか。

答 議会で議論した上で記名式にした。

問 記名の場合自由な意見が阻害されるのではないか。

答 無記名であると無責任なアンケートになってしまった事例があった。若桜町議会も記名式になっていた事例がある。

問 報酬を上げて定数は維持すると智頭町議会が決めたことではないか。

答 議員定数の声は報酬問題の議論が始まった頃から上がっていた。

問 議員定数を減らしたら立候補者が少なくなるのではないか。

答 有権者数が減っている。

(別紙2)

令和5年度議会説明会報告書

1. 日 時 令和5年11月8日(水) 18:30～19:30
2. 出席議員 仲井・宮本・田中・大河原・安道
3. 場 所 山形第一地区公民館 大会議室
4. 参加人数 27人
5. 概 要 議員定数に関する説明の後に意見交換

(1) 質疑応答

問 アンケートの期間が短いのでは。人数が少ないのでは。

答 名前・連絡先を記載していただいたのは、より具体的な内容を書いてもらいたいという思いである。2年後の改選と来年の補欠選挙もあるので、12月の議会で結論について出すようにしたいと考えている。

問 今日の資料では、議員の仕事の内容が見えないと思う。見えない仕事を見えるようにするには議会だよりをもっと詳しく書いたらどうか。少しでもわかってくるのではないか。

答 議会だよりの内容に関しては今後検討する。

問 議会、議員の活動状況を、QRコードなどに載せたらどうか。

答 情報提供を充実していきたい。

(別紙3)

令和5年度議会説明会報告書

1. 日 時 令和5年11月9日(木) 18:30~19:30
2. 出席議員 西尾・岡田・谷口翔・波多・安道
3. 場 所 富沢コミュニティセンター こもれば広場
4. 参加人数 6人
5. 概 要 議員定数に関する説明の後に意見交換

(1) 質疑応答

問 なぜ富沢地区のアンケートは集計されないのか。

答 地区の議員が全戸のポスティングをしまい議員間で協議をして、富沢の18については集計しないこととした。
ただ貴重な意見なので全議員が個人名が見えない形で閲覧している。

問 なぜ記名のアンケートにしたのか。回答数が全町で26とはあまりに少ないのではないか。

答 アンケートの実施方法については、全議員で協議し、他町のアンケートの実施状況も参考にしながら、責任ある回答を求めるべきではないか。との意見が多数だったために記名のアンケートにした。

問 回答数26をもって判断するのか。

答 すべてではなくこれはひとつの判断の材料とさせていただく。また記述式の意見もあるのでこれらも全議員が閲覧して共有させていただいている。

問 今回のアンケートは公民館に来て書いていただくというのは優しくないのではないか。ちょっとハードルが高い感じがする。

意見表明をしにくい高齢のかたの意見も聞いてほしかった。声の大きな人の意見だけが反映するようなことにはしてほしくない。

答 今回の定数削減については、議会内で積極的に出てきたのではなく、現状10名で議会運営がされている状況を踏まえて、住民の中から現状で運営できているのであれば定数削減できるのではないかとの指摘も考慮している。高齢者の方の意見も個々の議員活動の中で聴取したことを議会の議論に反映している。

(別紙4)

令和5年度議会説明会報告書

1. 日 時 令和5年11月9日(木) 18:30~19:50
2. 出席議員 仲井・宮本・田中・大河原・谷口雅
3. 場 所 土師地区公民館 集会室
4. 参加人数 22人
5. 概 要 議員定数に関する説明の後に意見交換

(1) 質疑応答

問 アンケートの26名の回答数は何名に対してなのか。

答 9月29日~10月10日まで、各地区の公民館にアンケートを設置して行った。

問 アンケートの数が少ない。記名か、記名じゃないかが前もって分かるように町民に知らせたのか。

答 告知端末にて複数回全町民に周知した。

問 このアンケートで結論をだすのか。

答 説明会で意見を聞き、今後議論を行い結論をだす。

問 町民は定数を減らせと言っているが、議会はどう思われているのか。

答 定数削減は仕事量が増大する。苦渋の決断である。

(別紙5)

令和5年度議会説明会報告書

1. 日 時 令和5年11月10日(金) 18:30~19:30
2. 出席議員 仲井・西尾・田中・大河原・安道
3. 場 所 旧那岐小学校 多目的ホール
4. 参加人数 19人
5. 概 要 議員定数に関する説明の後に意見交換

(1) 質疑応答

問 アンケート結果26名の意見では町民の多くの人の意見を反映している
とは言えないのではないかと。

答 アンケートだけではなく、日々の議員活動の中で意見は聞いている。

問 定数削減の理由と根拠を聞かせていただきたい。議会力が落ちるのではないかと。

答 20年前に定数を18名から12名にしている。現在は6,000人ぐらいの地域は8~10名の議員数でやっている場所が多くあり、議会の在り方も考えている。

問 定数削減する方法はなぜ10名なのか、根拠は。7、8、9、10、11、12と色々あると思うが。

答 現行では実質10名で活動している。検討しながら12月に結論を出す。

問 議員定数を決定し、実行する時期はいつ頃か。

答 次の改選期から施行する。

問 日南町は10名に削減し、次の選挙から無投票が続いているが、早く定数を決める必要性はないのでは。

答 議会で検討する。

(別紙6)

令和5年度議会説明会報告書

1. 日 時 令和5年11月10日(木) 18:30~19:20
2. 出席議員 岡田・宮本・谷口翔・波多・谷口雅
3. 場 所 旧山郷小学校 若杉ホール
4. 参加人数 7人
5. 概 要 議員定数に関する説明の後に意見交換

(1) 質疑応答

問 議員定数に関して10人にするという方向性が出ているならこの会は必要ないのではないか。

答 説明会を終えて皆様からのご意見を参考にして、再度検討して、結論を出す。

問 10人にした場合のデメリット対策はどうか。

答 議員定数の問題の議論は集落説明会の中で町民の声を拾った形で始まった経緯がある。再度議会としても協議を行っている。

問 多くの住民の声をいかに吸い上げ町政に活かしていくのが大切。今までの話では2名減らすための説得力が足りない。

答 議会としては可能な限り説明を行っている。